



Suica のペンギンは…

JRを利用する人にとっては、Suicaは必需品でしょう。現在はモバイル型に進化してスマホ決済もできるようになったとはいえ、その基本のスタンスは変わっていません。



ところで、このICカードが登場して以来、ずっと人気を誇っているのが、そのシンボルキャラであるペンギンです。しかし、このペンギンに愛称はありません。なぜなのでしょう。

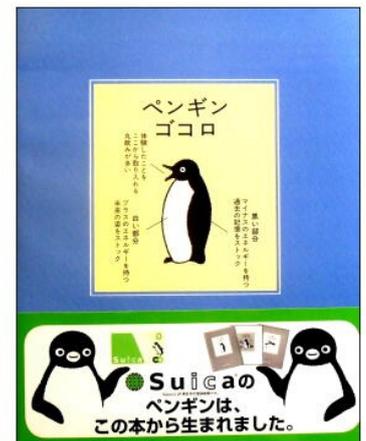
設定としては、モデルはアデリーペンギンで、南極から東京にやってきたことになっています。好物は魚肉ソーセージ。広大な南極海で「スイスイ」泳ぎ回るペンギンの所作と、Suicaで「スイスイ」便利になるというイメージとを掛け合わせたことから生まれました。

また、Suicaが「誰も知らない」「既存のものとは違うサービス」であることから、果実のスイカを知らないペンギンが選ばれたのだそうです。

そして、愛称がない理由としては、「それぞれの生活者が所有するICカードの分身」というコンセプトから固有の名前はあえて設定しませんでした。

しっかりと考えて創作されたことが分かります。

ただ、もともとは、さかざきはるさんの絵本「ペンギンゴコロ」などの絵本に登場していたペンギンでした。たしかに当初は名前もなかったのですが、この絵本シリーズの「ペンギンのおかいもの」では、「スイッピー」と名付けられています。著作権がJRではなく、彼女にあることを考えれば、そろそろこの愛称も浸透して良い頃かもしれません。



新宿駅の新しい南口には、このペンギンの銅像が建っている広場も開設されています。新しい待ち合わせ場所とも、サラリーマンの休憩場所ともなって、大勢に親しまれているようです。ただ、残念ながら、筆者自身は何年も新宿には近付いていません。コロナ禍というよりも、ただただ面倒臭いのです。歳は取りたくないものです。

